

【第6報(終報)】需給調整市場システムにおける  
募集量・応札量がある状態での約定していない事象のお知らせ

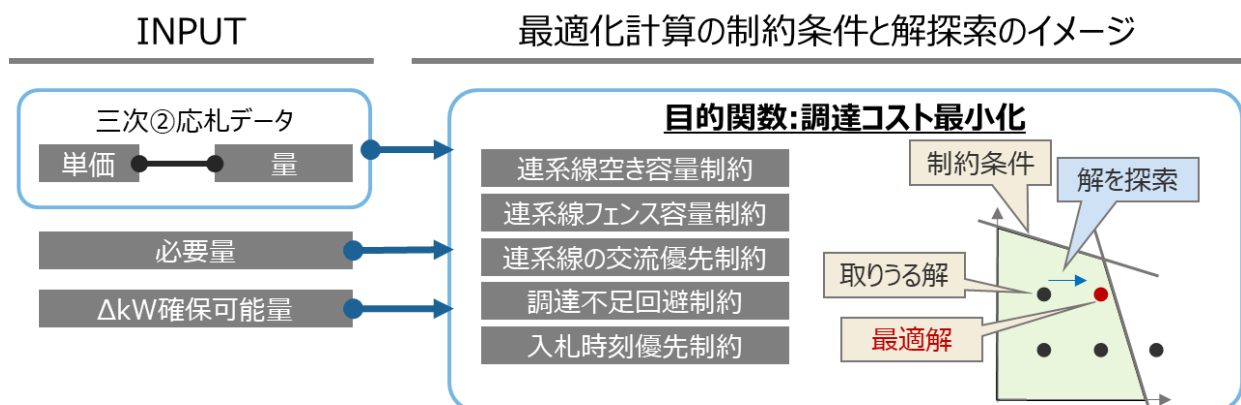
2024年4月12日  
電力需給調整力取引所

三次調整力②の4月9日取引分(4月10日受渡分)に発生した、募集量・応札量がある状態にもかかわらず、特定のブロックのみ約定結果がすべてゼロとなった事象につきまして、その概要および改修内容をお知らせします。なお、この改修を以って本事象への対策を完了とし、本日以降は通常の運営体制となります。

需給調整市場の約定ロジックでは、複数の制約条件を同時に満たし、かつ最経済となる組合せ(最適解)を商用ソルバ<sup>※1</sup>を用いて探索しています。なお、三次調整力②の約定ロジックでは、探索した最適解について、調達コスト最小を目的関数とした上で、同一価値の札に対して、原則、入札時刻を優先する最適化計算を追加で実施し最終的な最適解を探索しています。

調査の結果、今回は最初に探索した最適解と入札時刻優先を考慮した最適解が不整合となり、後続の処理を適切に行うことができず、当該ブロックの約定結果がすべてゼロになったものと判明しました。なお、本事象は稀頻度事象であることを確認しています。

今回の事象を受け、入札時刻優先を考慮した最適解を常に採用するように改修することで、同様の事象が発生した場合でも特定ブロックの約定結果がすべてゼロとなる事象を回避することとしました。なお、この改修では、最初に探索した最適解と入札時刻優先を考慮した最適解の不整合事象の回避とはなりません。同様の事象が今後どの程度発生するか実績を把握したうえで、追加の対策を検討して参ります。



※1 数値計算に対する分析機能の一つで、指定した様々な制約条件を満たす値の組み合わせを探索する機能

以上